

ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
 DIRETOR PRESIDENTE
 RAUL M. TAKAKI
 JORNALISTA RESPONSÁVEL
 TAKAO MIYAGUI
 Rua da Glória, 332 - Liberdade
 CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
 Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

最高裁がモロ敗北判断下す 取高裁がモロ敗北判断下す

ルーラ裁判からパロツシ除外 大統領選時の疑惑に酷評

最高裁の第2小法廷は4日、ルーラ元大統領連年のラウア・ジャソト作戦裁判に関して、元財相、官房長官のアントニオ・パロツシ被告の報復付証言(司法取引、以下デラソン)を不十分なものとして除外する判決を下した。この証言は2018年10月の大統領選の二次投票直前に、担当だったセルジオ・モロ連邦控訴裁判事(当時)が公開を許可した結果、現大統領の対立候補だった労働者党(P.T.)のフェルナンド・ハダジ氏が不利になった経緯がある。5日付付伯字紙が報じている。



セルジオ・モロ氏
(Fabio Rodrigues Pozzebom/Agencia Brasil)

今審理の議題は、ルーラ氏がパナナ州連邦裁判所に抱える1審案件のことだった。この裁判は、(聖市イビランガ区)の土地を最大手建築会社だったオデブレイト社からの賄賂で買ひ、さらにサンベルナルド・ド・カボボの自宅アパートの購入も同社の金で行ったとの疑惑に関するものだった。

この件に関して、パロツシ氏のデラソンを使用しないことをルーラ氏の弁護側から求められていたが、判事投票2対1で認められた。賛成したのはジュマル・メンデス、リカルド・レヴァンドウスキ、両判事。反対したのは報告官のエンソン・ファキメンデスだった。

フラヴィオ ケイロスの経費支払い認める 議員の個人的支出26万レ等

ラジャジーニャ疑惑で自宅軟禁中の元議員フラヴィオ・ケイロスが、ソナロ上議が保健費や娘の学費などを支払っていた事実を認め、ケイロス氏が自分の保健費や光熱費、娘の学費など個人的な経費を支払っていた事実が判明したことに反論している。

彼は、彼がリオ州議だった時代に同議会で横行していたラジャジーニャ(幽霊職員の給与をキックバックさせる)を不正受給への関与を否定した。12年で10万レアルの保健費など、高くないだろう」とフラヴィオ氏は反論している。

6日に行われる通貨政策会議(Copom)で、経済基本金利(Seiic)が2%に下がることはほぼ確実と、5日付付伯字紙が報じている。

ベイルート 妻「大丈夫だが自宅壊れた」 大規模爆発でゴーン氏宅損傷

エスタード・デ・サンパウロ紙は4日、日本の司法の手を逃れてレバノン首都ベイルートに逃亡中の元ルノー・日産会長カルロス・ゴーン氏の妻が、ベイルートの全てが破壊されたと語っている。

12月に東京での軟禁状態から脱走した。しかし、ゴーン氏がレバノンに到着したのは、同国経済が「完璧な暴風雨」の時期で、市民は銀行預金の引き出しすらできない規制に苦しんでいた。優れた経営者としての評判を持つゴーン氏は、預金引き出しリストから戻った際に日本に逮捕された同氏は、拘留所で数カ月間過ごし、昨年一部に政治家にとっても

国家運営の救世主的なイメージをもたれていた。しかし、同氏は同国の公職に就くことを否定してきた。同じく過剰な公職にある内閣部長であるワイナリーなど、いくつかのビジネスを維持している。

エポカ誌サイト4日付には、ベイルート在住の13年、旅行社を経営するブラジル人ジュリア・イブラインさんが、「何にも知らなくて、地震が何か私の住んでいるアパートが崩れるのか、真つ二つに割れるのかと思った。最初の揺れを感じたときに小さな子供二人を捕まえて廊下へと走った。何が起きているかわからず、

ひたすら叫んだ。建物が揺れて、窓が割れて落ちてきた。子供を抱きかかえながら死ぬと思った」とアジエンシア・ブラジル



爆発現場近くを捜索する消防員
(CivilDefenseLB)

4日付によれば、ブラジル連邦政府は次のようなメッセージを出した。「ベイルート港で起きた重大な爆発事故に関して、レバノン政府と重傷を負った人々を支援する。連帯の気持ちを表す。」

また、ブラジル国外務省は「今のところ、ブラジル国民で死者、重傷者は報告されていない」とし、爆発現場から8キロ離れた現地のブラジル大使館は、現地在住のブラジル人を支援すべく電話とメール連絡を受け付けているという。ガラスの破片で怪我をしたブラジル人、一人いると報道されている。

ベイルート湾のすぐ外にいたが、特に被害は受けていない」とのこと。ブラジルへのレバノン移民開始は1880年で、その子孫総数は800万人と言われている。サンパウロ州を中心に、リオ州、ミナス州、セアラ州、ペルナンブコ州、アマゾン州などでも商業に従事するものが多く、政治家を多く輩出している。

有名な子孫としては、カルロス・ゴーン氏以外にも、ミッシェル・テメル前大統領、ジェラルド・アウキミンソン元サンパウロ州知事、フェルナンド・アダシ元サンパウロ市長、グロウボ若手女優のフレグラー、カーリーサーのトニー・カナンなど錚々たる現役メンバーがそろっている。

人的交流深い伯国政府連帯示す

ゴーン氏の自宅は、爆発があった港から5キロほど離れたベイルート市の閑静な上流階級居住区にある。高級レストランや国際的なホテルが建つ活気ある地域だが、それでも爆発の被害に遭った。ゴーン氏は日産の不正行為を告発された日本から逃亡した後、今年1月にレバノンで初のインタビューに応じて注目された。18年末、国外旅行中のゴーン氏に苦しい状況に苦しむ市民はもとより、数カ月間過ごし、昨年一部に政治家にとっても

国家運営の救世主的なイメージをもたれていた。しかし、同氏は同国の公職に就くことを否定してきた。同じく過剰な公職にある内閣部長であるワイナリーなど、いくつかのビジネスを維持している。

エポカ誌サイト4日付には、ベイルート在住の13年、旅行社を経営するブラジル人ジュリア・イブラインさんが、「何にも知らなくて、地震が何か私の住んでいるアパートが崩れるのか、真つ二つに割れるのかと思った。最初の揺れを感じたときに小さな子供二人を捕まえて廊下へと走った。何が起きているかわからず、

ひたすら叫んだ。建物が揺れて、窓が割れて落ちてきた。子供を抱きかかえながら死ぬと思った」とアジエンシア・ブラジル

ひたすら叫んだ。建物が揺れて、窓が割れて落ちてきた。子供を抱きかかえながら死ぬと思った」とアジエンシア・ブラジル

ひたすら叫んだ。建物が揺れて、窓が割れて落ちてきた。子供を抱きかかえながら死ぬと思った」とアジエンシア・ブラジル

緊急時の連絡先

●サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」
 TEL: (11) 3274-6483
 朝8時から午後5時まで。日本語対応可。相談内容に応じて、福祉士などに回す。

●サンクルス病院
 「新型コロナウイルス感染症の緊急外来受診のためのコールセンター」
 TEL: (11) 97572-4602 日本語対応、24時間。

●万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト

- ⇒在ブラジル大使館(連邦区、ゴイアス州、トカンチナス州)
 代表電話(61) 3442-4200 / 夜間連絡先: ブラジル国内から(地域番号なし) 4003-2142
 サイト: https://www.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⇒在サンパウロ総領事館(サンパウロ州、マト・グロソ州、マト・グロソ・ド・スール州、三角ミナス地域)
 代表電話(11) 3254-0100 サイト: https://www.sp.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⇒在クリチバ総領事館(パラナ州、サンタ・カタリーナ州)
 代表電話(41) 3322-4919 サイト: https://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⇒在ベレン領事事務所(バラ州、マラニョン州、アマパ州、ピアウイ州)
 代表電話(91) 3249-3344 サイト: https://www.belem.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⇒在リオデジャネイロ総領事館(リオデジャネイロ州、エスピリト・サント州、ミナス・ジェライス州)
 代表電話: (41) 3322-4919 / 受付時間外及び休館日: ブラジル国内から(0) 21-3461-9595
 サイト: https://www.rio.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⇒在ポルトアレグレ領事事務所(リオ・グランデ・ド・スール州)
 代表電話: (51) 3334-1299 サイト: https://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000040.html
- ⇒在マナウス総領事館(アマゾナス州、 Rondônia州、ロライマ州、アクレ州)
 代表電話: (67) 3232-2000 サイト: https://www.manaus.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⇒在レシフェ総領事館(セアラ州、リオ・グランデ・ド・ノルテ州、セルジッペ州、ペルナンブコ州、アラゴアス州、パイア州、パライバ州)
 代表電話: (81) 3049-8300 サイト: https://www.recife.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

ブラジル東京海上は
 安心と安全の提供を
 通じて、豊かで
 快適な社会生活と
 経済の発展に
 貢献します。

**TOKIO MARINE
 SEGURADORA**
 NOSSA TRANSPARÊNCIA, SUA CONFIANÇA

